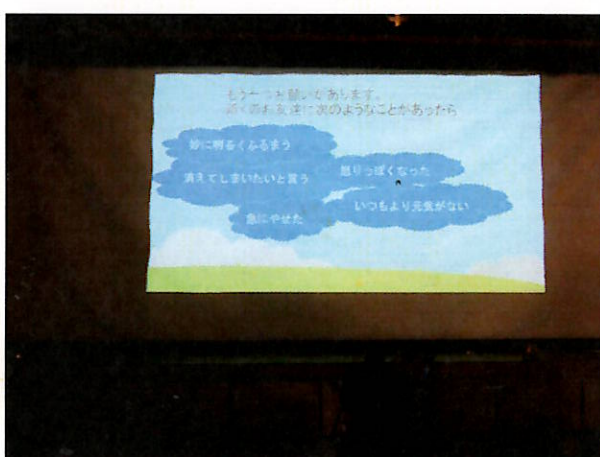
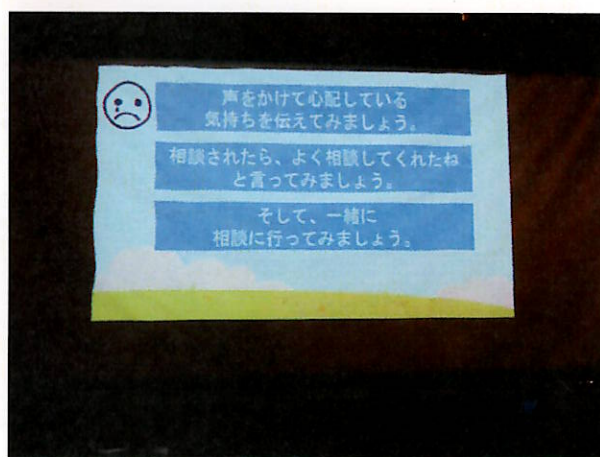


SOSの出し方教育

令和5年5月2日（火）

5月2日（火）に体育館で小林先生から全校生徒に向け、SOSの出し方について話をしました。SOSの出し方に関する教育の目的は、子どもたちが、現在起きている危機的状況、又は今後起こり得る危機的状況に対応するために、適切な援助希求行動（身近にいる信頼できる大人にSOSを出す）ができるようにすること、及び身近にいる大人がそれを受け止め、支援ができるようにすることです。



【参考資料】

自殺総合対策大綱（自殺対策基本法に基づき、自殺総合対策会議における議論を経て、政府が推進すべき自殺対策の指針として定めるもの）には、「自殺対策に資する教育」として、「命の大切さを実感できる教育」「心の健康保持に係る教育」「様々な困難・ストレスへの対処方法を身につけるための教育」の3つが示されており、「SOSの出し方教育」は「様々な困難・ストレスへの対処方法を身につけるための教育」の一つです。

子どもは相談したいと思っても言い出せないことがあります。相談ができない要因の一つとして、受け止めてもらえないのではないかという不安があると言われています。相談を受け止める際に言うてはいけない言葉・気にかかる様子が見られた時の言葉・相手の思いを受け止めるときの言葉の例を挙げましたので、参考にしてください。

【言うてはいけない言葉例】

- | | |
|--------------|--------------|
| ・頑張れ | ・命を粗末にするな |
| ・逃げてはダメだ | ・そのうちどうにかなるよ |
| ・ご両親や友達が悲しむよ | ・そんなこと考えちゃダメ |

【気にかかる様子が見られた時の言葉例】

- | | |
|-------------------------|------------------|
| ・どうしましたか？ | ・どうしたの？何か辛そうだけど |
| ・なんか元気ないけど大丈夫？ | ・何か悩んでる？よかったら話して |
| ・何か悩み事があるんじゃない？ | |
| ・もしよかったら、心配事を話してくれませんか？ | |

【相手の思いを受け止めるときの言葉例】

- | | |
|--------------|-----------------|
| ・辛かったですね | ・大変でしたね |
| ・よく耐えてきましたね | ・今までよく頑張ってきましたね |
| ・よく話してくれましたね | ・あなたのことが心配 |
| ・力になりたい | ・私にできることはある？ |